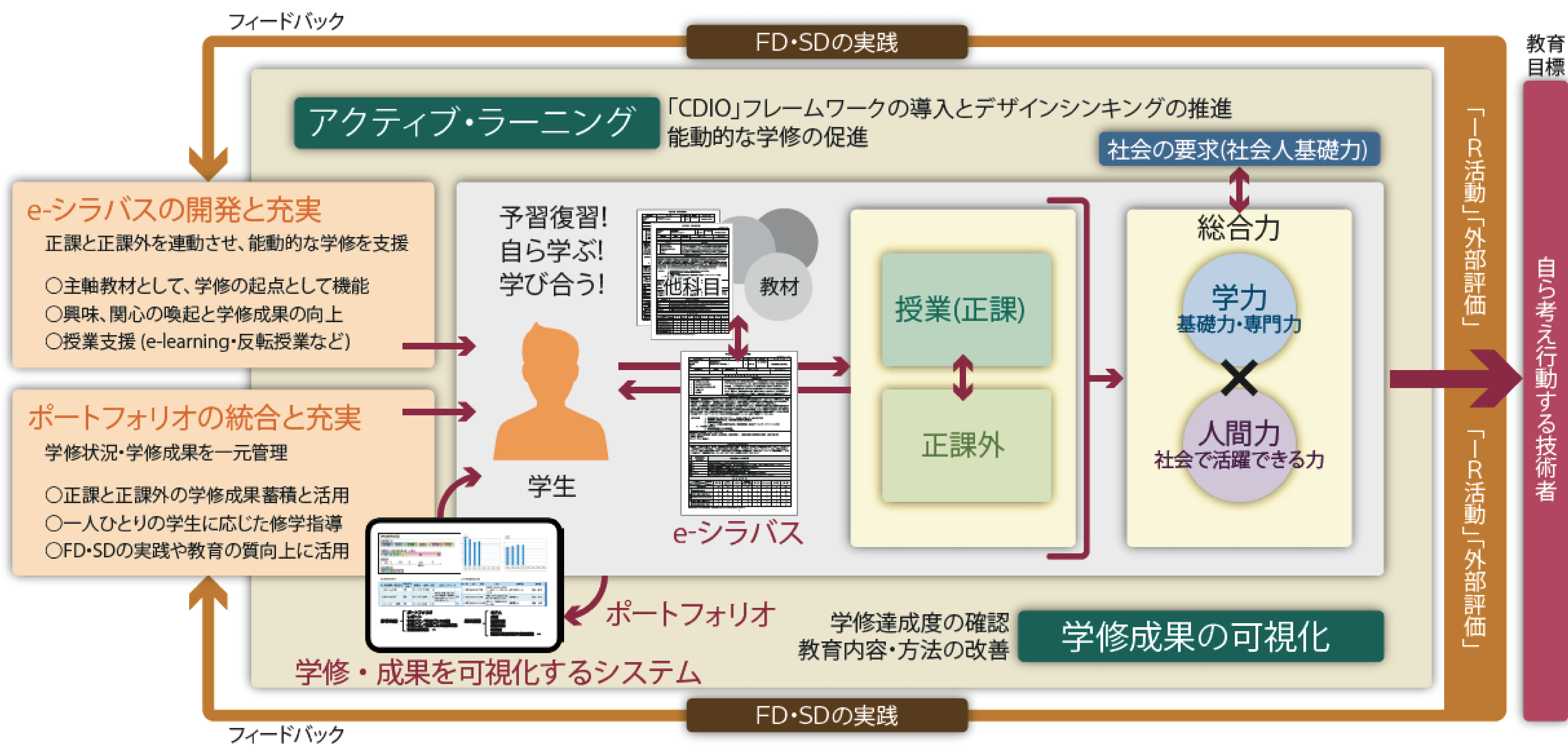


アクティブ・ラーニングと学修成果の可視化  
— 高校から大学、そして社会に繋がる教育 —

金沢工業大学におけるAP事業の取組の概要

学生の能動的な授業への参画と予習・復習を含めた正課外の学習の更なる充実の仕組みを構築し、教育の質と総合的な教学マネジメントの質向上を図っていくことを目的とする。具体的には、学生の能動的な学びを支援する新たなシラバスを構築し、正課教育と正課外教育を接続し、統合型アクティブ・ラーニング (AL) のシステムを全学的に展開する。併せて学士課程全体を工学教育の世界標準になりつつあるCDIO【Conceive (考え出す)、Design (設計する)、Implement (実行する)、Operate (操作・運用する)】の略で、この一連の流れを工学教育に導入する考え方【のフレームワークに照らし合わせ、ALが可能となる学習環境を整備する。また現行のポートフォリオを正課教育と正課外教育の学修成果が可視化・分析できるように改善し、学生一人一人の学修達成度の確認と教育内容や方法の改善をIRと組み合わせて実現する。



アクティブ・ラーニング (e-シラバスの構築)

学修成果の可視化 (自己成長シートの導入)

**授業外学修時間**  
14.2時間 → 25.4時間  
**授業満足度率**  
80.5% → 85.6%

**課外活動への参加率**  
37.9% → 59.1%

学修履歴情報  
修学アドバイザー、履修科目数、出席率、QPA など

単位修得状況  
進級条件、単位修得状況、課程別修得単位数 など

学長褒賞修得状況  
学長褒賞内容、推薦者、学長褒賞推薦条件 など

資格修得状況  
受験した資格、合否、合格したポイント など

課外活動状況  
活動期間、活動内容 など

インターンシップ  
参加期間、企業名 など

活動記録、受講講座  
活動の内容やポイント、受講した講座名や感想 など

学修成果を可視化し、学生の成長を記録

メディアサイトを利用した反転授業

e-シラバスを活用した課外活動との連動

専門能力と人間力の可視化